

第 68 回定期総会 飯田会長あいさつ

本日ここに、全国町村議会議長会第 68 回定期総会を開催いたしましたところ、原田総務副大臣、竹内衆議院総務委員長、横山参議院総務委員長並びに藤原全国町村会長におかれましては、公務きわめてご多忙の折にもかかわりませず、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、都道府県会長並びに事務局各位には、遠路、揃ってご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、本日の総会では、議事に先立ち、「平成 28 年度表彰」を行うこととしております。

自治功労者表彰を受けられる皆様は、永年にわたり議会活動等を通じて地方自治の振興発展に顕著なご功績があった方々であり、また、町村議会表彰並びに町村議会広報表彰を受けられる議会は、全国の町村議会の模範となる活動が評価されたものであります。

ここに深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年末に決定した「平成 29 年度地方財政対策」においては、高市総務大臣をはじめとする関係各位のご尽力により、前年度からの繰越金が無いなど非常に厳しい状況の中で、前年度を上回る一般財源総額 62.1 兆円が確保されました。

また、地方創生関連予算についても、地方財政計画に「まち・ひと・しごと創生事業費」が引き続き 1 兆円計上されたほか、「地方創生推進交付金」が前年度同額の 1,000 億円確保され、その運用の弾力化が図られるなど、地方が本格的な事業展開に取り組みやすい環境が整ったところであります。

我々地方にとって、地方創生は地域再生への生命線であります。

全国 927 の町村では、それぞれの総合戦略に基づいて、雇用創出と地域経済再生に励み、人の流れを作り、若者からお年寄りまでが安心して暮らせる「故郷」の構築に向け真摯に取り組む所存でございますので、政府・国会におかれましては、継続的に情報、人材、財政各方面での総合的なご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

また、深刻度を増している町村議会議員のなり手不足問題にも真正面から取り組まなければなりません。

地方議会議員の位置付けの明確化や公営選挙の拡大を図るとともに、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議員の厚生年金制度への加入のための法整備が実現できるよう、積極的に活動していく所存であります。

このほかにも、発生から6年を迎える東日本大震災や本格的な復興過程に入る熊本地震の被災地支援、将来に発生することが想定される大規模災害への対策、持続可能な社会保障制度の構築など町村が直面する問題は多岐にわたりますが、いずれの問題につきましても、全国町村会長の藤原会長や各都道府県町村議会議長会と連携を密にしながら、解決に向けて全力を傾注する所存でありますので、ご来賓の諸先生方におかれましては、多大なるご理解と暖かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、ご出席の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、定期総会開催にあたってのご挨拶といたします。

平成29年2月8日

全国町村議会議長会会長 飯田 徳 昭